PENTAX® MZ-50 GUARTZ



カメラの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

このたびはペンタックスカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。 MZ-50は、撮影条件に合わせてピクチャーモードを選ぶだけで、簡単にいろいろな撮影を楽しむことができるオートフォーカス一限レフカメラです。

また、ストロボを上げたままでも必要なときだけストロボを発光させることができる、ストロボ自動発光機能、動体予測など多彩な機能を備えています。

このカメラでは、レンズの絞りを $|\mathbf{A}|$ 位置にしないとシャッターが切れませんのでご注意ください。

各部の名称は表紙と裏表紙の内側にありますので、開い て各ページを読みながらご覧いただくこともできます。

記号について

操作の方法	←
自動的に動きます	4==+
注目してください	
点滅します	7,5
正しい	0
間違い	X

「林柵の秘密」

すぐに役立つ写真の基礎知識



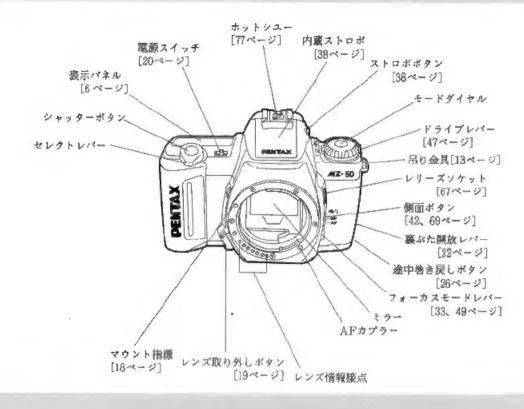
露出の仕組みや光の測り方、 ピントの合わせ方など写真 の基礎を豊富なイラストと 作例でわかりやすく解説し ています。

お買い求めは、ペンタックスサービス窓口・ペンタックスファミリーまたは、最寄りのカメラ店で。



各部の名称を開いて見ながらお使いください。

各部の名称①



カメラを安全にお使いいただくために

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容 については特に注意をしてお使いください。

⚠ 警告

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が重大な傷害を受ける可能性が あることを示すマークです。

△ 注意

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

- は、禁止事項を表わすマークです。
- ▲ は、注意を促すためのマークです。

小警告

- カメラを分解しないでください。カメラ内部には 高電圧部があり、標電の危険があります。
- 参 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、 絶対に露出部分に手をふれないでください。感電 の危険があります。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- 望遠レンズを付けた状態で、長時間太陽を見ないでください。■を痛めることがあります。特にレンズ単体では、失Ⅲの原因になりますのでご注意ください。
- ▲ 電池は幼児の手の届かない所に保管してください。 万一、電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご 相談ください。

⚠ 注意

- ■電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解や充電をしないでください。 破裂・発火の恐れがあります。
- ↑ 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を置こしたときは、速やかに電池を取り出してください。この場合、やけどに十分ご注意ください。

取り扱い上の注意

- ・汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンな どの有機溶剤は使用しないでください。
- ・高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでご注意ください。
- ・防虫剤や薬品を扱う所は避けてください。また、カビ防止のためケースから出して、風通しの良い所に保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかるところでは使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- ・約60℃の高温では液晶表示が無くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- ・低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることも ありますが、これは液晶の性質によるもので、故障 ではありません。

- レンズ、ファインダー窓のホコリはブロワーで吹き 飛ばし、されいなレンズブラシで取り去ってください。
- マクロレンズや望遠レンズを使用したときは、ファインダーの上部がミラー切れによって暗くなることがありますが、撮影した写真には影響ありません。
- 高性能を保っため、1~2年毎に定期点検をしてください。長期間使用しなかったときや、大切な撮影の前には点検や試し撮りをしてください。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に水滴が 生じます。カメラをバッグやビニール級などに入れ、 温度差を少なくしてから取り出してください。
- カメラの使用温度範囲は-10℃~50℃です。
- ・ゴミや起・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などが カメラの中に入らないようにご注意ください。故障 の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、 良く拭いて乾かしてください。

П	300	٦
ж	(100)	п
п		ı
Ш		ı

ピント関係・

画面の中央にない物にピントを合わせたい	36
ピントの合う範囲を変えて写真を撮りたい	······62

ĺ	
ł	
ı	

ストロボ関係

暗い所で写真を撮りたい37
ストロボ撮影で目が赤く写らないようにしたい43
自動的にストロボを発光させたり、止めたりしたい …45
結婚式など広い室内で写真を撮りたい77
逆光の人物の顔を明るく写したい
夜景をバックに人間を撮影したい82



ズーミング関係

写したい物の大きさを大きくしたり小さくしたりしたい ……30



舞出[明るさ]関係

カメラ任せでなく明るさを自由に変えて写真を振りたい 64、68 遊光の人物の顔を明るく写したい ………81



人物摄影関係

自分自身も写真に写りたい	47
人物撮影で人物を浮きたたせたい	
集合写真を撮りたい	56
逆光の人物の顧を明るく写したい	81
夜景をバックに人間を撮影したい	82



風景写真を近くから遠くまできれい	に撮りたい57
夜景を振りたい	66
夜景をパックに人 を撮影したい	82



その他

写真に目付を入れたい[清したい]21
連続的にシャッターを切りたい47
動きの速いスポーツ写真を振りたい59、60
花などを近くで振りたい

目 次

取り扱い上の注意
こんな写真を撮るには?
表示パネルの表示ガイド
ファインダー内の表示ガイド
使い方は簡単です
各種レンズを組み合わせたときの機能1
説明書の構成について
カメラの準備と基本操作
ストラップを取り付けます1
電池を入れます1
◆電池が消耗した場合
レンズを取り付けます1
シャッターボタンの操作
電源を入れます
写真に日付や時刻を写し込みます2
フィルムを入れます2
フィルムの巻き戻しについて2
◆フィルムの途中巻き戻し2

基本的な使い方[撮影]27~45
標準モードに合わせます27
1 コマ撮影にします29
ズームレンズの使い方30
カメラの構え方32
オートフォーカスを選びます33
撮影します34
フォーカスロック撮影について36
内蔵ストロボの基本的な使い方37
● 赤目軽減機能について43
• ストロボ自動発光モードについて45
応用的な使い方46~89
ドライブモードを切り替えます46
◆ 連続撮影47
セルフタイマー47
手動によるピント合わせ49
• スナップインフォーカス撮影について51

ビクチャーモードの使い方54
● 標準モード55
• 人物モード56
■風景モード ····································
◆近接モード·······58
●動体モード ······59
いろいろな露出モードを選びます60
シャッター優先自動露出の使い方60
◆絞り優先自動露出の使い方62
◆マニュアル露出の使い方64
◆パルブの使い方66
露出補正について68
電子音を消します69
内蔵ストロボについて、もっと知りたい方へ70
●F • FA レンズの内蔵ストロボ適合表72
DXでないフィルム使用時の態度設定方法73
日付や時刻の写し込みが薄くなったときの電池交換74
日付や時刻の修正75
外付けストロボの使い方77
●光量化制御シンクロ摄影79

日中シンクロについて
低速シンクロについて8
専用アクセサリー[別売り]について
絞りとシャッター連度の効果8
被写界深度88
赤外線指標について89
その他について90~99
こんなときは?
主な仕様92
プログラム線図94
お問い合わせは次の各サービス窓口へ96
アフターサービスについて95

表示パネルの表示ガイド

MELAUR 4000 Tv2000 Av22 12 1320

M : マニュアル露出[64ページ]

: 標準モード[55ページ]

■ :人物モード[56ページ]

: 風景モード[57ページ]

■ : 近接モード[58ページ]

:動体モード[59ページ]

:ストロボ情報[37、38ページ]

● : 赤目軽減機能[43ページ]

: ストロボ自動発光[45ページ]

ISO : フィルム感度設定[73ページ]

Tv2000:シャッター速度

: 電池消耗[17ページ]

AV 22 : 絞り

■ : 憲出補正[68ページ]

□ : フィルム状態[24、25ページ]≥ 3 : フィルム枚数、露出補正値

[24、68ページ]



[] : AFフレーム[34ページ]

2cm : シャッター速度 **522** : 絞り

: ストロボ情報[37、38ページ]

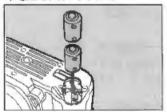
● : ビント情報[34ページ]・露出補正マーク[68ページ]

: バーグラフ[65、68ページ]

※サービスサイズのカラーブリントでは、画面周辺の物がブリントされないことがあります。構図に少し余裕を持たせてください。

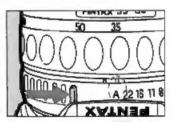
使い方は簡単です![とにかく撮影してみたい方のために]

1)電池を入れてください



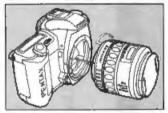
コインなどで電池ぶたを開けて、 リチウム電池CR2を2本カメラの表 示に合わせて入れます。[14ページ]

4)絞りを A 位置にしてください



このカメラでは絞りを A 位置に しないとシャッターが切れません。 [27ページ]

2)レンズを取り付けてください

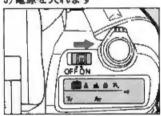


レンズとカメラのマウント指標[赤点] を合わせてはめ込み、右に止まるま で回してロックします。[18ページ]



絞り A 位置以外では、ファイン ダー内の F - および表示パネル の Av - が点滅します。

3)電源を入れます



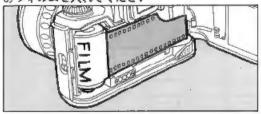
電源スイッチを右にスライドさせ ます。[20ページ]

5)モードダイヤルを **(加)** 位置にしてください



モードダイヤルを 位置に合わせ、セレクトレバーを回して標準モードにします。[28ページ]

6)フィルムを入れてください



カメラの裏ぶたを開けてフィルムを入れ、フィルム先端 を赤色のフィルム先端マークの右端に合わせて裏ぶたを 閉めます。自動的に1枚目まで進みます。[24ページ]

7) オートフォーカスにしてください



フォーカスモードレバーを[AF] に合わせます。 [33ページ]

8)写すものの大きさを決めてください



ファインダーを覗きながらズームリングを回して、写したいものを好みの大きさにしてください。[30ページ]

9) ピントを合わせて撮影してください





ビントを合わせたいものにAFフレーム [1 を合わせて、シャッターボタンを静かに押して撮影します。[34ページ]

● 各種レンズを組み合わせたときの機能

このカメラで使用できるレンズは、絞りにA位置のある $FA \cdot F \cdot A$ レンズのみです。これ以外のレンズあるいは、 $FA \cdot F \cdot A$ レンズで絞りをA位置から外した場合は、シャッターが切れないためご使用いただけません。

機能 レンズ 【マウント名】	FAレンズ [Ka、Kan] 注1	Fレンズ [Kw] 注5	ADVX
オートフォーカス(レンズ単体使用)	0	0	Х
(AFアダプター 1.7×使用)	-	-	○注2
3点测距	×	er.	36
マニュアルフォーカス(FI 表示の利用)注3	○注4	○注4	○注4
(マット面の利用)	0	0	0
パワーズーム	×	×	х
イメージサイズ指定	×	×	JI.
ズームクリップ	×	×	×
露光間ズーム	×	×	х
ピクチャーモード	0	0	0
絞り侵先自動器出	0	0	0
シャッター優先自動離出	0	0	0
マニュアル露出	0	0	0
プログラムTTLオートストロボ撮影	O	0	0
TTLオートストロボ撮影	0	0	0
分割測光 (2 分割)	0	0	0

注1: F*FAソフト85mmF2.8および、FAソフト28mmF2.8には絞り A 位置がありませんので、シャッターが切れません。

注2: レンズの開放F値がF2.8および、それより明るいレンズのみ。絞り A 位置でのみ使用可。

注3:、ファインダー内の合焦マーク ○ に従って行なう手動のピント合わせ。[FI=フォーカスインジケーター。]

注4:1レンズの開放F値がF5.6および、それより明るいレンズのみ。

マウント名称について

オートフォーカス用のレンズには、 K_{AP2} と K_{AP} の 2 つのマウントがあります。 K_{AP2} マウントは K_{AP} マウントに電源ビンを追加し、パワーズームを可能にしたマウントです。詳しくはレンズの使用説明書をご覧ください。

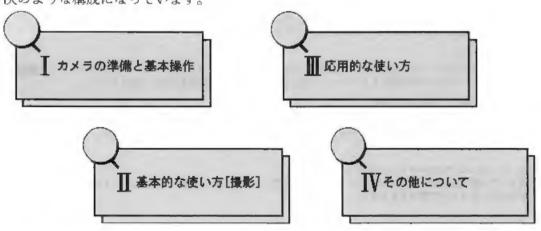
レンズ名称とマウント名称について

FAの単焦点レンズ(ズームでないレンズ)とFレンズのマウントはすべて K_{AF} マウントです。FAズームレンズは、パワーズームが可能なレンズは K_{AF} マウント、パワーズームのできないレンズは K_{AF} マウントです。 詳しくはレンズの使用説明書をご覧ください。

- ・A、F、FAレンズはKマウント[パヨネット式]です。
- IIIタイプのねじ込み式レンズ(Sレンズ)をマウントアダプターKを使って取り付けても、シャッターは切れますが 露出が合いませんので使用できません。

説明書の構成について

説明書を効果的にご使用いただくために、次のような構成になっています。



●とにかく撮影をしてみたい方は「カメラの準備と基本操作」と「基本的な使い方[振影]」をお読みください。最小限の操作を知っていただくだけで簡単な撮影がお楽しみいただけます。

カメラの準備と基本操作

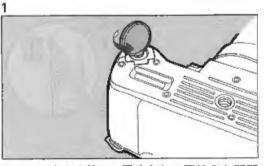
(1)ストラップを取り付けます



図のように、ストラップを取り付けてください。

- * ストラップの先端は、図のように留め具の内側になる ように通すとしっかり取り付けられます。
- * ストラップのポケットは、ファインダーキャップ、レ リーズンケットキャップ、ホットシューカバーなどの 小物入れとしてご利用ください。
- ストラップの留め具をカメラの近くにしすぎますと、 途中巻き戻し、日付や時刻の修正ができなくなります のでご注意ください。26ページ、75ページ、76ページを ご覧ください。

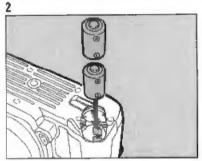
(2)電池を入れます



Ⅰカメラの準備と

基本操作

1. コインなどを使い、電池ぶたの電池ぶた開閉 レバーを左に回して電池ぶたを開けます。



2. 電池の一側を先に電池を2個入れ てください。

3. コインなどを使い、電池ぶたの電池ぶた開閉 レバーを押し込みながら右に回して、電池ぶ たをロックします。

- * このカメラは電池がないと動きませんので、操作をする前には、必ず決められたリチウム電池 CR2 同等品を2個入れてください。サンブルの電池が添付されていますので、この電池をお使いください。
- 単3個池を使える、創売りの単3パッテリーパックF。もあります。
- * 電池を入れ値すと、ピントが合ったときの電子音は 「鳴る」に、露出補正値は「D」に、内蔵ストロボの赤目 軽減機能は「なし」に、内蔵ストロボの自動発光は「な し」に変わります。それ以外の設定は変わりません。
- 低温では、一時的に電池の性能が低下することがありますが、常温に戻れば使用できます。
- 海外旅行・寒冷地での撮影や写真をたくさん振るときは、予備電池をご用意ください。
- * 電池を交換するときは、全部を一度に、同一メーカー。 同一種類で行なってください。また、新しい電池と古 い電池を提ぜないでください。

16



- 4. 電源スイッチを右にスライドさせ、図のような表示が表示パネルに出ることを確認してください。
 - * この表示はモードダイヤルが で、レンズが着い ていない場合です。

撮影可能フィルム本数およびバルブ**請**問 [24枚提りフィルム、20°C]

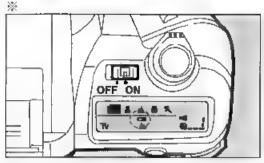
[244]X186.5.7.4.7724.5.20.0.]				
- 投撮影	約 100 本			
ストロボ撮影[使用率50%]	約 25 本			
ストロボ撮影[使用率100%]	約12本			
パルブ薩出時間	約8時間			

撮影可能フィルム本数およびバルブ時**■** [24枚振りフィルム、-10℃]

CE TOURS IN THE CE TO THE	
一般撮影	約30本
ストロボ撮影[使用率50%]	刹 15本
ストロボ撮影[使用率100%]	約7本
バルブ霧出時間	約2時間

- * 新品のリチウム電池 [CR2]で、当社試験条件による。
- * 撮影可能フィルム本数は、使用条件によって変わりま すのでご注意ください。
- * 同梱されている電池はサンブル目の電池のため、上記 のフィルム本数を撮影できないことがあります。

カメラの準備と基本操作



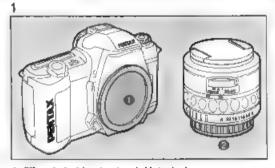
※観池が消耗した場合

電池が消耗すると、図のように表示パネルに電池消耗警告[← が点灯します。お早めに電池交換の準備をしてください。電池の交換は14ページをご覧ください。

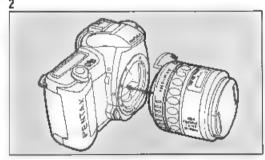
- 電池マーク □ が出たままでも、シャッターが切れれば露出に問題はありません。
- * 表示パネルの電池消耗警告 C■ が点滅になると、ファインダー内表示は消え、機影できなくなります。
- * 長期間カメラを使用していない場合、新品電池に交換しても表示パネルに電池消耗警告 ← が表示されることがあります。

電源を入れ、シャッターボタンを半押ししてみてください。 の表示が揃えれば、そのままお使いになれます。

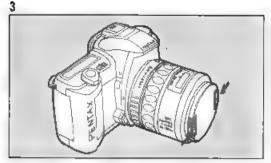
(3) レンズを取り付けます



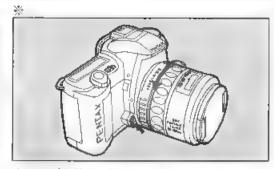
- 1. 図の⊕と⊕のカバーを外します。
 - ◆ ●のカバーは工場出荷時のキズやホロリ防止用のものです。保管用には、別売りアクセサリーとして「ボディーマウントキャップK」が用意されています。



- カメラとレンズの赤点のマウント指標を合わせて、レンズをカメラにはめ込み、レンズを右に回すと「カチッ」と音がしてロックされます。
- * レンズ取り付け時は、レンズ取り外しボタンを押さないでください。レンズの取り付けが不完全になります。
- * レンズ関り付け後は、レンズを取り付け方向とは逆に 軽く倒して、確実に取り付いていることを確認してく ださい。
- * レンズの搭脱は、不用意なレンズの動きを防ぐため、 電源OFFで行なってください。



- 3. レンズキャップは、図のように矢印部分を内側に押すと外れます。
 - * 他社製レンズを本製品に使用されたことによる事故、 故障などにつきましては保証いたしかねます。
 - * カメラやレンズのマウント面には、レンズ情報接点や AFカプラーがあります。この部分にゴミや汚れが付い たり、腐食が生じると、電気系のトラブルの原因にな る場合があります。汚れたときは、乾いた柔らかい布 できれいに拭いてください。



※レンズを外すには レンズを外すときは、レンズ取り外しボタンを 押したまま、レンズを左へ回してください。

* 外したレンズは、マウント■辺を傷付けないため、カメラに取り付く面を上にして置いてください。

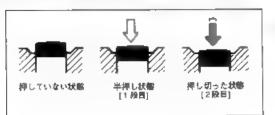
20 (4)シャッターボタンの操作

シャッターボタンは2段階になっています。

シャッターボタンを半回しすると[1段目まで押す]、ファインダー内の表示が表示され、オートフォーカスが働きます。

さらにシャッターボタンを押し切る[2段目まで押す]と、シャッターが切れ撮影できます。

- * シャッターボタンは、カメラぶれを防ぐためにも、指 の■でゆっくり押してください。
- * フィルムを入れる前に、実際にシャッターボタンを押 してみて、どこまで押すと半押しになるのか、感覚を つかんでください。
- * ファインダー内表示は、シャッターボタンを半押して から約10秒間は、指を離しても表示されたままになり ます。なお、シャッターボタンの半押しを続けると、表 示は継続します。



(5)電源を入れます





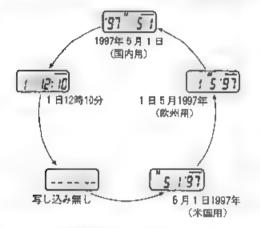
- 電源スイッチを右にスライドすると電源が入ります。[電源ON]
- 2. 電源スイッチを左にスライドすると電源が OFFになります。
 - 使わないときは、必ずOFFにしてください。シャッターボタンが押されると置池が消耗します。

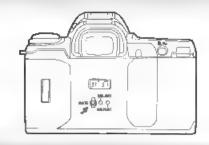
カメラの準備と基本操作

図のように、矢印の DATE ボタンを押して、 写し込みたい内容を選びます。

表示は図のように DATE ボタンを押すごとに 変わり、表示されている日付または時刻が写真 に写し込まれます。

- * Miは「月上の位置を表わしています。
- * [一] はシャッターを切ると点滅をして、日付や時刻が 写し込まれたことを知らせます。





- * 目付や時刻は、撮影のたびに写し込まれます。
- * | -- -- にすると写し込みはされません。
- * 日付や時刻の写る部分[画面右下]に白や黄色のものが あると、写し込まれた表示が見えにくくなりますので 注意してください。
- * 日付や時刻の整正は、75ページをご覧ください。
- * 日付や時刻の写り込みが躓くなったり、データバック の表示窓の表示が薄くなったり、消えた場合には電池 を交換してください。なお、動池の交換は74ページをご 驚ください。
- * 使用上の注意が76ページにもありますので、そちらも ご覧ください。

(7)フィルムを入れます

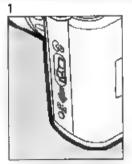
カメラの操作に慣れるまでは、カメラにフィルムを入れ ないで練習されることをお勧めします。

フィルム感度自動セット

このカメラでは、フィルムを入れるだけでフィルム感 度が自動的にセットされます。 「ISO25~5000までのフィルムが使えます。]

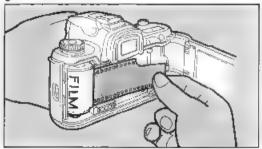
- # ほとんどのフィルムが、フィルム感度を自動的にセッ
 - トできるDXフィルムですが、DX以外のフィルムの場 合は、73ページをご覧になり、フィルム感度を設定して からお使いください。 * カメラを強入後、初めてフィルムを入れるときには、
- 裏ぶたを開けて写真のような防傷カバーをシャッター 幕に触れないよう注意しながら、取り外してください。



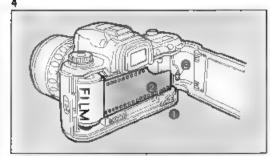




- 1. 裏ぶた開放レバーを矢印の方向へ下げると、 裏ぶたが開きます。
- 2. 図のようにレンズ部分を左手でしっかりと持 ち、フィルムの凸部制を下にして下側から先 に入れ、次に上側を入れます。
- フィルムの凸部分の穴を、カメラの白い突起にしっか り差し込んでください。
- * フィルムを入れるときは、直射日光が当たらないとこ ろで行なってください。



- 左手でレンズを持ったまま。指やフィルム先端がシャッター幕に置れないように気を付けて、右手でフィルムを引き出します。
 - フィルムを引き出し過ぎた場合は、フィルムをパトローネに戻してたるみを取ります。
 - * フィルム室内のDX情報ビンは、フィルム感度などを読み取る接点です。キズやゴミ、汚れを付けないように、 注意してください。ゴミや汚れがあるときは、乾いた 柔らかい布できれいに拭いてください。
 - * シャッター幕は非常に薄い幕でできており、精度の高いものです。手やフィルム先端などが当たりますと破損させる恐れがありますので、絶対に置れないように注意してください。

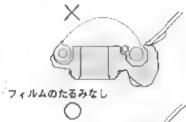


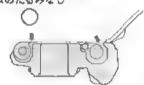
- 図のように、フィルム先端部を赤色のフィルム先端マーク●の右端に合わせます。
 - * フィルム先端は、必ず®のローラーの下に入れてください。
 - * フィルムの穴[パーフォレーション]を2の値[スプロケット]に合わせ、フィルムがまっすぐに入っていることを確認してください。
- * フィルムの先端が極端に折れ曲がっているものは、まっ すぐに直してください。

24

カメラの準備と基本操作

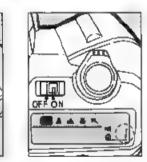
フィルムのたるみあり





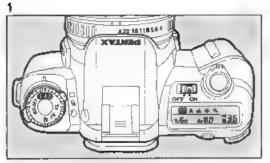


* 表示パネルに | ②______」 が点滅しているときはフィ ルムが正しく入っていま せん。 真ぶたを開けて、 フィルムを入れ直してく ださい。

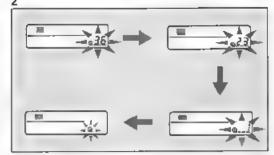


- 裏ぶたを閉め、電源をONにすると、フィルムが自動的に1枚目まで進みます。
 - * 表示パネルにフィルム枚数表示の 】 と **⑤** が出ていることを確認します。
 - * 表示パネルのフィルム枚数表示は、撮影するごとに 1 つずつ遊みます。

(8)フィルムの巻き戻しについて



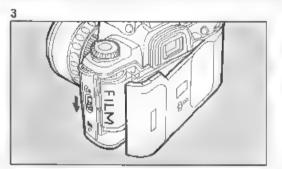
- 1. フィルムを最後まで撮影すると、自動的に巻き戻しが始まり書す。
 - * 巻き戻し中は、表示パネルの (Q_____ の ____ 部分が 点滅して巻き戻し中であることを知らせます。
 - * 巻き戻し中は、表示パネルの撮影枚数が逆算表示されます。
 - * 巻き戻し中は裏ぶたを開けないでください。
 - * フィルムは直射日光が当たらないところで取り出して ください。
 - * 規定枚数になっても、まだ撮影が続けられるときは、 フィルムが最後まで進んでから巻き戻しが行なわれます。



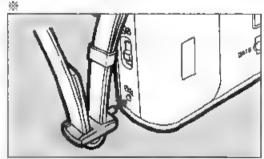
2. 巻き戻しが終了すると、表示パネルの <u>@</u> が点滅し、撮影枚数の表示が消えます。

20

カメラの準備と基準操作



- 3. 裏ぶたを開け、フィルムを取り出します。
 - * 巻き戻しは24枚撮りフィルムで約13秒です。
 - * カメラを使わないときは、電源をOFFにしておいてく ださい。
 - * 表示パネルの <u>@</u> の点鍼を確認してから、裏ぶたを開 けてください。
 - * フィルムの規定牧数以上の撮影をすると、最後のコマ は現像所でカットされる場合があります。 大事な写真 の場合は、規定收数を撮り終わった時点で途中巻き戻 しを行ない、フィルムを交換してください。



※フィルムの途中巻き戻し

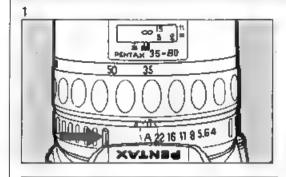
フィルムを規定枚数まで職り終わらないうちに途中 で取り出したいときに使います。

電源をONにし、図の途中巻き戻しボタンをストラップ留め具の突起で押してください。

- * 表示パネルの の点滅を確認して**から、裏**ぶたを削 けてください。
- * 途中巻き戻しボタンを傷付けることがありますので、 ストラップ留め具以外は使わないでください。

Ⅱ基本的な使い方 撮影

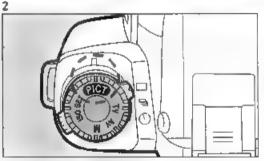
(1)標準モードに合わせます



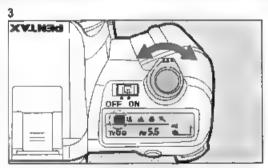
このモードは、最も簡単な露出モードで、カメラが自 動的に露出合わせをしますので、シャッターボタンを 押すだけで簡単に撮影が楽しめます。

- 1. 図のように、レンズの絞りを「A」位置に合わ せます。
 - * レンズの絞りが「A 位置以外では、シャッターが切れ ません。
- * レンズの絞りを A 位置に合わせる場合は、絞りオー トロックボタンを押しながら回してください。なお、 「A 位置から外す場合にも、絞りオートロックボタンを 押しながら回してください。

基本的な使い方



2. モードダイヤルを回して、 4000 位置に合わ せます。



- 3. セレクトレバーを回して、表示パネルの □ を合わせます。
 - * このカメラには、標準モード以外にももつのピクチャー があります。54ページをご覧ください。

ドライブレバーを回して。 ロ 位置に合わせます。

- * シャッターボタンを押し続けても1度だけ振影される、最も一般的なモードです。
- * ドライブレバーのその他の機能について46ページを ご覧ください。

(3) ズームレンズの使い方



望遠側



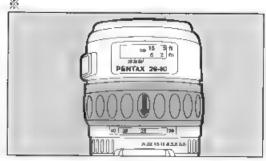
広角側

ズームレンズを使えば写したい物を大きくしたり、小 さくしたり自由に変えることができます。好みの大き さに合わせて撮影してください。

- * レンズの焦点距離表示の数字を小さくすると、写る幅
 ■が広い広角[ワイド]側に、大きくすると、違いものを大きく写す望遠[テレ]側になります。
- * このカメラにベンタックスFAズームレンズを組み合わせても、イメージサイズ指定、ズームクリップ、露光間ズームおよび、パワーズームは使用できません。

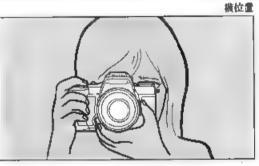


ズームリングを右に回すと望遠[テレ]へ、左に回すと広角[ワイド]になります。



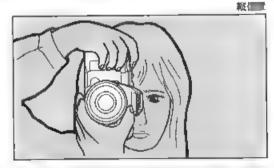
※パワーズーム可能なレンズの場合 ズームリングを手前に引いて、 POWER ZOOM の文字が隔れるようにしてから、ズームリングを左右に回します。

(4)カメラの構え方

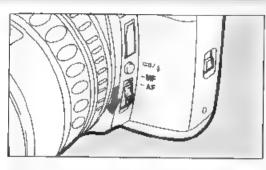


撮影するときは、カメラの構え方が大切です。 カメラが動いてしまうのを防いで、きれいな写 真が撞れます。

- 図のようにカメラを両手でしっかりと持ってください。
- シャッターボタンは指の腹で静かに押します。



- * 木や種物・テーブルなどを利用して、体やカメラを安 定させると効果があります。
- * 個人差はありますが、一般的には焦点距離の逆数が手 持ちの限界シャッター速度とされています。例えば、 焦点距離が50mmでは1/50秒、100mmでは1/100秒 などです。これ以下のシャッター速度になる場合には、 なるべく三脚を使用してください。
 - 三脚を使用する場合は、別売りの「ケーブルスイッチF」 の利用をお勧めします。
- * 毀選レンズで三脚を使用するときは、カメラやレンズ の総重量より重い三脚を置うとカメラぶれ防止に効果 があります。



オートフォーカスでは、シャッターボタンを半押し するだけで自動的にピントが合います。

フォーカスモードレバーをAFに合わせます。

* このカメラでは、オートフォーカスを使わずに、 手助でピント合わせをすることもできます。詳 しくは、49ページをご覧ください。

(6)撮影します

2



ることを確認します。
1. 写真に赤線で示すように、ファインダー内の AFフレーム (()) の内側にピントを合わせたいものを合わせ、シャッターボタンを半 押しすると、自動的にピント合わせが行なわ

フォーカスモードレバーが | AF | 位置になって

れます。 2. ピントが合うと、図のようにファインダー内 の ○ が光って、「ピピッ」と電子音が鳴り ます。

基本的な使い方

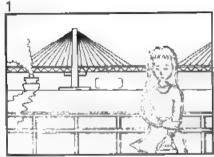
- * シャッターボタンを半押しすると、表示パネルとファインダー内にシャッター速度と絞り値が表示されます。
- * ストロボお勧め表示が出た場合には、内蔵ストロボ をお使いください。内蔵ストロボについては、37ページをご覧ください。
- * ピン 8 が合ったときの電子音は消すことができます。 69ページをご覧ください。
- * オートフォーカス作動中は、レンズの距離リングに 手をかけたり回転を妨げたりしないでください。
- が点滅を置けるときは、以下の理由でピント 合わせができないときです。
- ① 撮影距離が近すぎる もう少し離れて撮影してください。
- ②オートフォーカスの苦手な物の場合。52ページをご覧ください。

- 3. さらにシャッターボタンを押し切ると撮影できます。
- シャッターを切ると自動的にフィルムが巻かれ、表示 パネルの枚数表示が1つ進みます。
- * ピントが合うまでシャッターは切れません。
- シャッターボタンを半押しして、 が光っている間は、ピントがその位置で固定されていますので、別のものにピントを合わせ直すときは、シャッターボタンから指を離して押し直してください。

動体調問

ジャッターボタン半押しでピント合わせをしているときに、カメラが写す物を動体と判断すると、 動動的に動体 予測に切り替わります。この場合には、レンズが連続的 に駆動し、常に写す物にピントを合わせ続けます。

写す物が速すぎるときには、シャッターが切れないことがあります。

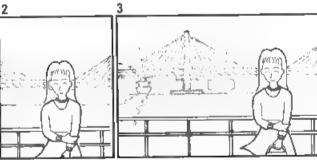


フォーカスロック撮影について なぜフォーカスロックが必要なのか

オートフォーカスのピント合わせは、ファインダー 内のAFフレーム <u>[]</u> 内内側だけで行なわれます から、ピントを合わせたいものがAFフレームから 外れていると写したい物にピントが合いません。

フォーカスロックの方法

1. AFフレーム () が外れたままで撮影する と、図のように後ろにピントが合ってしまい ます。



- 2. ピントを合わせたいものにAFフレーム () |を合わせ、シャッターボタンを半押し 状態にして () を点灯させたままにしてお きます。[ピントを記憶させる操作です。]
- シャッターボタンを半押しのまま、元の構図に関して、さらにシャッターボタンを押し切って撮影します。
 - * シャッターボタンから指を離して、ファインダー内の □ が消えると、フォーカスロックは解除されます。
 - * 別の場所にフォーカスロックをするときは、一度シャッ ターボタンから指を難してから再び、押し直してくだ さい。

(7)内蔵ストロボの基本的な使い方



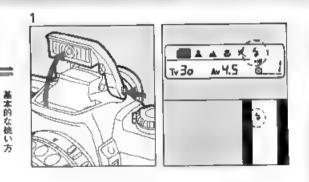


ストロボお勧めマークについて

ストロボが必要なときは、シャッターボタン半押しで、ファインダー内と表示パネルの **を** が点滅します。

■ の点談は、罵出モードがピクチャーモード・紋り 優先自動露出では写したい物が暗い場合と遊光の場合 に、シャッター■ た自動露出・マニュアル露出では逆 光の場合にのみ表示されます。

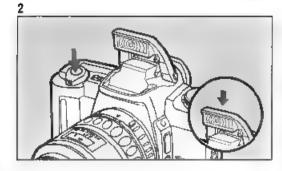
38



内蔵ストロポを使います

表示パネルに 図 が表示されているときは、この表示を消しておいてください。45ページをご 覧ください。

- 見いたです。 1. 図のように、ストロポポタンを押して、ストロポを上に出します。
 - * 充電が自動的に始まり、充電が終わると、表示パネルに「* が表示されます。シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内にも「* が表示されます。
 - * レンズフードは、ストロボの光を遮ることがありま すので使わないでください。



- シャッターボタンを押してストロボ撮影をします。撮影後、内蔵ストロボは右下の円内に示した矢印部分を押して収納してください。
 - * 写す物が明るくても常にストロボは発光します。
- * ストロボ充電中はシャッターは切れません。
- * ストロボを連続して使うと、電池が多少温かくなることがありますが、異常ではありません。
- * 内蔵ストロボを上げた状態では、外付ストロボを取り 付けることができません。同時に使用する場合の接続 方法については、77ページをご覧ください。

ピクチャーモードでのストロボ撮影可能距離

ストロボ撮影できる距離は、表のように、ご使用になる レンズの開放较り値により変化しますのでご注意ください。開放較り値は、レンズに「1:1.4」のように表示されています。[F1.4の場合]

使用レンズの開放破り値	撮影距離範囲	
F1.4	約0.8~3.9m [5.6m]	
F2	約0.8~3.3m [4.8m]	
F2.8	約0.7~2.8m [4.0m]	
F3.5、F4.7	#)0.7~2.4m(4.0m)	
F5.6	\$50.7~2.0m[4.0m]	

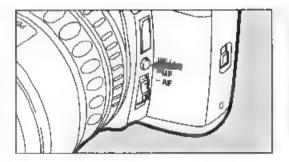
[ISO100のとき、カッコ内はISO400のとき]

- この機能距離範囲は、電出モードがピクチャーモード の場合です。これ以外の露出モードの撮影距離につい ては71ページをご覧ください。
- * ストロポで撮影できる最短距離は、レンズの開放絞り 値がF2.8およびそれより暗いレンズを使用しても、常 に約0.7mとなります。0.7mより近距離で撮影すると露 出が正しく制節されません。また、ケラレなどが発生 しますのでご注意ください。

レンズが不適切な場合の警告表示

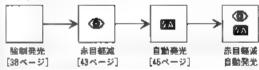
ストロポ撮影に不適切なF・FAレンズを使用すると、充電完了時シャッターボタン半押しで、表示パネルの 等けやファインダー内の[等 が点蔵して書告します。内蔵ストロボの適・不適レンズについては、72ページをご覧ください。

- 特告が出た状態で撮影すると、画面の四隅が暗くなる ケラレが出たり、画面下部に半円形のケラレが出ます のでご注意ください。
- * F · FAレンズ以外では警告表示は出ません。

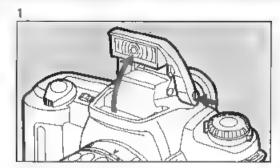


側面ボタンについて

内蔵ストロポが上がっているときに、側面ボタンを押す と、下記の順番でストロボの発光方式を選ぶことができ ます。



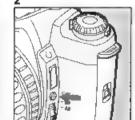
- * 内蔵ストロボが上がっていない状態では、電子音の切り替えになります。69ページをご覧ください。
- * 自動発光が選択できるのは、露出モードがピクチャー モードの場合だけです。これ以外のモードでは、強制 発光と赤目軽減との切り替えのみとなります。



赤目軽減機能について

このカメラには、ストロボ2度発光による赤目軽減機 能が付いています。

シャッターが切れる直前にストロボ発光[小光量]が行われ、瞳径を小さくしてからストロボ撮影をするので目が赤く写るのを目立たなくすることができます。





セット方法

- ストロボボタンを押して、ストロボを上に出 します。
- 側面ボタンを押して、表示パネルに を表示させます。

44.

- * 側面ボタンは、内蔵ストロボが上がっている状態で押してください。上がっていない状態では、電子音の切り替えになってしまいます。
- * 赤目軽減機能とAF500FTZなどのストロポのスレーブ 機能を組み合わせると、1度目のプリ発光で外付けスト ロポが発光してしまいますので、スレーブ使用時は赤 日軽減機能は使わないでください。
- * 外付けストロボでは、表示パネルに が表示されて いてもストロボ 8 度発光による亦目 軽減機能は働きません。
- * 赤□軽減機能の解除は、セット時と同様に、ストロポを上に出した状態で、側面ボタンを押して表示パネルの ◆ 表示を消してください。

赤自現象とは

一般に「赤月現象」といわれ、暗い中で人物のストロボ 撮影を行なったときに、目が赤く写る現象です。これは、 ストロボの光が目の網膜に反射するために起こる現象と 言われています。赤目を完全に防ぐことはできませんが、 できるだけ関りを明るくして撮影するか、 ズームレンズ を使用している場合には広角側にして近距離で撮影する などの方法を利用すると軽減することができます。 外付 けのストロボをご使用のときは、ストロボをできるだけ カメラから離すと効果があります。

ストロボ自動発光モードについて

このモードは、内蔵ストロボを上げたままでも、必 要などきにだけストロボを発光させることができる。 便利なモードです。

セット方法

- 1. ストロポポタンを押して、ストロポを上に出 します。
- 2. 側面ボタンを押して、表示パネルに 🔞 を表 示させます。





- * ストロボが自動的に発光するのは、ピクチャーモード で、写す物が暗い場合と逆光の場合です。それ以外の 露出モードでは、ストロボは常に発光します。
- * 側面ボタンは、内蔵ストロボが上がっている状態で押 してください。上がっていない状態では、電子音の切 り替えになってしまいます。
- * ストロボ自動発光の解除は、セット時と同様に、スト ロボを上に出した状態で、側面ボタンを押して表示バ ネルのIBA 表示を消してください。

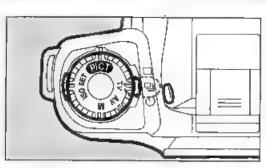
(1)ドライブモードを切り替えます

このカメラには、図のように3種類のドライブ モードがあります。

ドライブモードの種類

- ・ 1コマ撮影 🖂
- 連続撮影 🕒
- セルフタイマー撮影 〇
- □□□:シャッターボタンを押し切ると、1回だけシャッ ターが切れます。最も一般的なドライブモードで
- 🖷 :シャッターボタンを押し切っている間、連続的に シャッターが切れます。47ページをご覧ください。
- :セルフタイマー撮影をします。47ページをご覧く ださい。

Ⅲ応用的な使い方

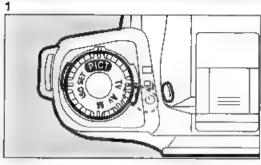


1)連続撮腦

シャッターボタンを押している間、連続的にシャッターが切れます。

ドライブレバーを回して <u>■</u> 位置に合わせま す。

- 連続撮影では、シャッターが1回切れる毎にその都度 ピン II 合わせを行ないます。
- * 内蔵ストロボを使うときは、充電が完了してからシャッ ターが切れます。



2) セルフタイマー撮影

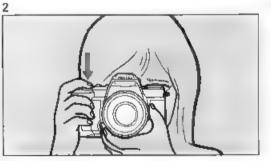
セルフタイマー撮影は、撮影者も入って記念撮影などをするときに使います シャッターボタンを押すと、約12秒後にシャッター

が切れます。

ドライブレバーを回して (3) 位置に合わせます。

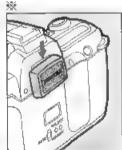
4<u>8</u>

応用的な使い方



- シャッターボタンを半押しして写したいもの にピントを合わせ、シャッターボタンを押し 切るとセルフタイマーが始動します。
 - * セルフタイマーの作動中は電子音で知らせ、シャッター が切れる約2秒前から、電子音も速い断続音「ピッピッ ピッ」になります。
 - * セルフタイマーを始動後に中止したいときは、ドライブレバーを 以外の位置にするか、電源をOFFにしてください。

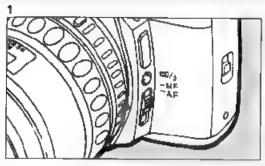




- ※セルフタイマーでは、ファインダーから入る 光が、自動露出に影響を与える場合がありますので、付属のファインダーキャップをご利用ください。
 - 「ファインダーキャップ」などのアクセサリーの取り付けは、アイカップ Fa を片側に広げながら手前に引っ張り、取り外してから行ないます。

応用的な使い方

(2)手動によるピント合わせ



ファインダー門の合焦マーク 〇 を利用する 場合

開放F値がF5.6以上の明るいレンズ[F1.2~5.6]では、 ファインダー内の合焦マーク 〇 を利用した手動 ピント合わせができます。





使い方

- 1. フォーカスモードレバーを MF に合わせま す。
- 2. ファインダーを覗きながらシャッターボタン を半押しした状態で、レンズの距離リングを 左右に回してください。
- 3. ピントか合うとファインダー内の合焦マーク ○ が光って「ピピッ」と電子音が鳴ります。 そのままシャッターボタンを押し切って撮影 してください。
 - * 電子音は、消すことができます。69ページをご覧くださ \ln_0

オートフォーカスが使えない場合

以下の理由で、オートフォーカスやファインダー内の合 魚マーク | ○ |が使えない場合は、51ページの方法でファ インダーのマット面を利用した手動ビント合わせをして ください。

- a) 「オートフォーカスの苦手な物」で合焦マーク 〇 が 点滅しているとき。52ページをご覧ください。
- b) 開放F値がF5.6より暗いレンズを使っているとき。







マット面を利用する場合

- フォーカスモードレバーを MF に合わせます。
- ファインダーを覗きながら、レンズの距離リングを左右に回してファインダー内の映像が 最もはっきり見えるようにピントを合わせ、 撮影してください。

スナップインフォーカス撮影について

前もってピントを合わせておいた所に写したい物が 来たときに、自動的にシャッターが切れるように、 待ち伏せすることをスナップインフォーカス撮影と いいます。

- レンズはオートフォーカス用でないレンズ[A レンズ]を使用します。
- フォーカスモードレバーを AF に合わせます。
- 写したいものが通りそうな位置にピントを合わせておきます。
- 4. ケーブルスイッチFを使って、シャッターボタンを押し切った状態にします。
- 5. 写したいものがピントを合わせた位置に来ると、自動的に撮影されます。

52

オートフォーカスの苦手な物

オートフォーカス機構はきわめて高精度のものですが、 万能ではありません。写す物が右記のような場合には、 ピントが合わないことがあります。ファインダー内の合 無マーク ○ を利用しての手動ピント合わせも同様です。 そんなときは、写す物とほぼ等しい距離にフォーカスロックをしたり、フォーカスモードレバーを M F にセット して、従来の一眼レフカメラと同様にファインダーのマット面を利用して手動ピント合わせを行なってください。 フォーカスロックについては、36ページを、マット面を 利用したピント合せについては51ページをご覧ください。

- a) AFフレーム[()]の内側が白い壁などの極端にコ ントラスト[明暗差]の低い物だけの場合。
- b) AFフレーム [[] に光を反射しにくい物がある場合。
- c) 非常に速い速度で移動している物。
- d) 遠近のものがAFフレーム () の中で同時に存在 する場合。
- e) 反射の強い光、強い逆光[周辺が特に明るい物]。



アクセサリーの注意

以下の条件では、オートフォーカスやファインダー内の合焦マーク[○]を利用した手動ピント合わせができません。51ページの手順に従って、ファインダー内のマット面で手動ピント合わせをしてください。

特殊なフィルターや「マジックイメージアタッチメント」・「ステレオアダプター」などを使った場合。

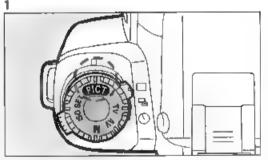
偏光フィルターについて

オートフォーカス機構の一部にハーフミラーを使用していますので、一般の偏光フィルターを使うとオートフォーカスの精度が低下します。オートフォーカスで使用するときには円偏光フィルターをご利用ください。また、露出の精度も低下しますので、円偏光フィルターの使用をお勧めします。



応用的な使い方

(3) ピクチャーモードの使い方

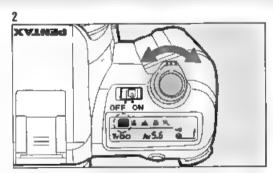


このカメラのピクチャーモードには、下記のように 5つのモードがあります。各モードについては55~ 59ページをご覧ください。

設定方法

レンズの絞りをA位置にします

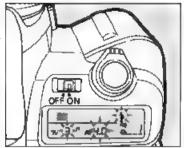
1. モードダイヤルを回して、 **2000** 位置に合わせます。



- セレクトレバーを回して、表示パネルの希望のモードに □ を合わせます。
- * レンズの絞りが A 位置以外では、シャッターが切れません。
- * レンズの絞りを A 位配に合わせる場合は、絞りオートロックボタンを押しながら回してください。 なお、 [A] 位置から外す場合にも、絞りオートロックボタンを押しながら回してください。



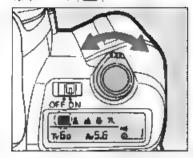




※露出警告

写したい物が明るすぎたり暗すぎるときは、図のように 表示パネルとファインダー内のシャッター速度と絞り値 表示が点滅して警告します。明るすぎるときはもう少し 暗いところにカメラを向け直してください。暗すぎると きは、ストロボなどをご利用ください。

標準モード ■■





一般的な撮影をするときにこのモードを使うと便利 です。

設定方遍

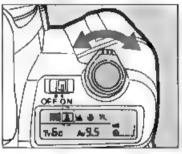
モードダイヤルを @ に合わせ、セレクトレ バーを回して、表示パネルの 😊 に 🗀 を合 わせます。

ジャッターボタンを半押しすると、ファインダー内と 表示パネルに絞り値とシャッター速度が表示されます。

 \equiv

応用的な使い方

人物モード 国







人物撮影をするときにこのモードを使うと便利です。

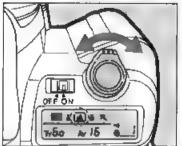
設定方法

モードダイヤルを (2003) に合わせ、セレクトレ バーを回して、表示パネルの; ▲ に 🔲 を合 わせます。

* シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内と 表示パネルに絞り値とシャッター速度が表示されます。

このモードで人物撮影をすると、望遠系のレンズではバッ クの風景をぼかして人物を浮きたたせることができます。 ·方、広角系のレンズでは、集合写真などに便利なよう に比較的広い範囲にピントが合うようになっていますの で、全員にピントの合った写真が撮れますので、記念写 真、スナップなどに幅広くご利用いただけます。

風景モード 🔳







風景撮影をするときにこのモードを使うと便利です。

設定方法

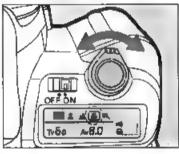
モードダイヤルを (MB) に合わせ、セレクトレバーを回して、表示パネルの ▲ に □ を合わせます。

シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内と 表示パネルに絞り値とシャッター連冊が表示されます。

このモードで風景撮影をすると、近くから遠くまで風景 全体にピントの合った写真が最れます。

58

近接モード 🔳







花などを近くで撮影するときに使うと便利です。

股定方法

モードダイヤルを **(209)** に合わせ、セレクトレ バーを回して、表示パネルの **②** に □ を合 わせます。

* シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内と 表示パネルに絞り値とシャッター速度が表示されます。

このモードで撮影を行うと、ピントの合う範囲が広くなっていますので、シャープな写真が撮れます。





動体モード 国







動きの速い物を写すときに使うと便利です。

設定方法

モードダイヤルを (国) に合わせ、セレクトレ バーを回して、表示パネルの ** に (二) を合 わせます。

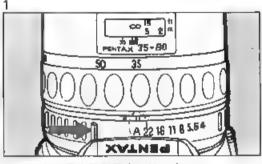
* シャッターボタンを半測しすると、ファインダー内と 表示パネルに絞り鎖とシャッター選胺が表示されます。

このモードで撮影すると、動きの速いものでもぶれずに 動きを止めて重っきりとした写真を撮ることができます。

60

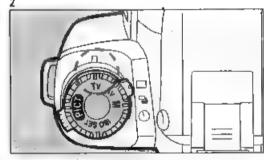
応用的な使い方

(4) いろいろな露出モードを選びます

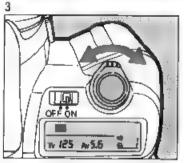


シャッター優先回動露出の使い方

希望のシャッター速度に合わせると、写したい物の明るさに応じて絞りが自動的に変わります。速い速度で動きを止めたり、遅い速度で動感を出すのに適しています。シャッター速度の効果については、86ページをご覧ください。



- 1. 絞りを A 位置に合わせます。
- モードダイヤルを回して、TV 位置に合わせます。
- レンズの絞りが A 位置以外では、シャッターが切れません。
- * レンズの絞りを A 位置に合わせる場合は、絞りオートロックボタンを押しながら回してください。なお、 A 位置から外す場合にも、絞りオートロックボタンを 押しながら回してください。

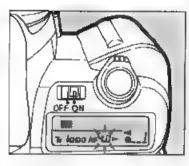




- 3. セレクトレバーで好みのシャッター速度を選びます。
 - * シャッターボタンを半押しすると、表示パネルには絞 り値が、ファインダー内にはシャッター速度と絞り値 が表示されます。表示パネルにもシャッター速度が表示されますが、この表示は電源がONであれば常に表示 されます。
- * ファインダー内のシャッター速度表示の下に横棒が表示されます。





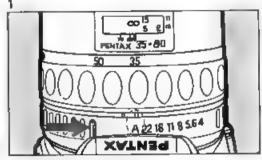


臺露出警告

写したい物が明るすぎたり暗すぎ』ときは、図のように表示パネルとファインダーの絞り値表示が点滅して警告します。明用すぎるときはシャッター速度を違く、暗すぎるときはシャッター速度を遅くして点滅が止まれば撮影できます。

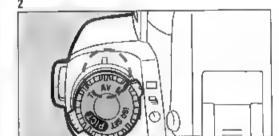
なお、シャッター速度表示と絞り値表示の両方が点越した場合は細光範囲外ですから、シャッター速度を変えても適正露出は得られません。明るすぎるときは、もう少し暗いところにカメラを向け直してください。暗すぎるときは、ストロボなどをご利用ください。



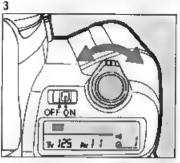


絞り優先自動露出の使い方

希望の絞りに合わせると、写す物の明るさに応じて シャッター速度が自動的に変わります。ピントの合 う範囲を広くしたい■景写真や、背景をぽかしたい 人物の撮影などに適しています。絞りの効果につい ては、87ページをご覧ください。



- 1. 絞りを: A 位置に合わせます。
- 2. モードダイヤルを回して、 Av 位置に合わせ ます。
 - レンズの絞りが A 位置以外では、シャッターが切れません。
 - * レンズの絞りを[A] 位置に合わせる場合は、絞りオートロックボタンを押しながら同してください。 なお、 A] 位置から外す場合にも、絞りオートロックボタンを 押しながら回してください。

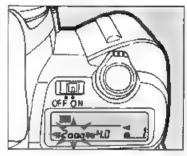




- 3. セレクトレバーを回して好みの絞りを選びます。
 - * シャッターボタンを半押しすると、表示パネルにはシャッター速度が、ファインダー内には絞り値とシャッター 速度が表示されます。表示パネルにも絞り値が表示されますが、この表示は、電源がONであれば常に表示されます。
 - * ファインダー内の絞り値表示の下に横棒が表示されます。





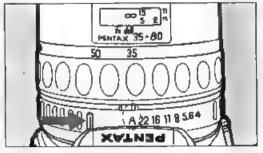


※雷出警告

写したい物が明るすぎたり暗すぎるときは、図のように表示パネルとファインダー内のシャッター 速度表示が点滅して警告します。明るすぎるときは絞りを外絞り側[数字の大きい方]に、暗すぎるときは絞りを開放側[数字の小さい方]にして点滅が止まれば撮影できます。

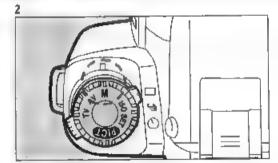
なお、シャッター速度表示と絞り値表示の両方が点滅した場合は測光範囲外ですから、絞りを変えても適正露出は得られません。明るすぎるときは、もう少し磨いところにカメラを向け直してください。暗すぎるときは、ストロポなどをご利用ください。



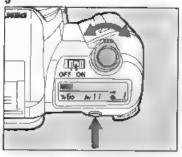


マニュアル課出の使い方

常に同じシャッター連度と絞りの組み合わせで撮影をする場合や、意図的に露出オーバー[明るい写真] や露出アンダー[暗い写真]にするときに使います。



- 1. 絞りを A. 位置に合わせます。
- モードダイヤルを回して、 M 位置に合わせます。
 - * 表示パネルに M が表示され、マニュアル開出であることを知らせます。
 - * レンズの絞りが A 位置以外では、シャッターが切れません。
 - * レンズの絞りを Al位置に合わせる場合は、絞りオートロックボタンを押しながら回してください。なお、Al位置から外す場合にも、絞りオートロックボタンを押しながら同してください。





- シャッター速度の選択はセレクトレバーで、 絞りの選択は、電出補正ボタンを押しながら セレクトレバーを回すことで行います。
 - * シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内に 絞り値とシャッター適度および、バーグラフが表示さ れます。表示パネルにもシャッター速度と絞り値が表示されますが、この表示は電源がONであれば常に表示 されます。
 - * ファインダー内のシャッター速度表示の下に植棒が、 露出補正ボタンを押すと、■り値表示の下に積棒が表示されます。

花火、夜景などの撮影で長時間シャッターを開いて

おく必要のあるときにご利用ください。シャッター

ボタンを押している間、シャッターが開き続けます。

2. モードダイヤルを回して、 🔛 位置に合わせ

3. セレクトレバーを回し、シャッター速度を低

速側に移動させ、表示パネルとファインダー

1.絞りを A 位置に合わせます。

内に もいを表示させます。

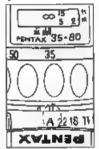
バーグラフの異丸が 日 側に並んでいるときは露出不足、 ● 側に並んでいるときは露出がオーバーです。
 中心にあれば適正露出です。バーグラフの異丸 1 個は 1/2 段階[1/2EV]に相当します。ただし、±3 段階[±3EV]を超えた場合は、 日 あるいは ● が点滅表示します。

※露出警告

写したい物が明るすぎたり暗すぎるときは、表示パネルとファインダー内のシャッター速度表示と絞り値表示の 両方が点滅し、測光範囲外を知らせます。 シャッター速度や絞りを変えても適正露出は得られません。 明るすぎるときは、もう少し暗いところにカメラを向け直してください。暗すぎるときは、ストロポなどをご利用ください。

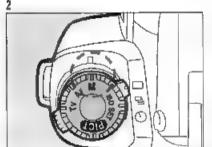
66





パルプの使い方

ます。

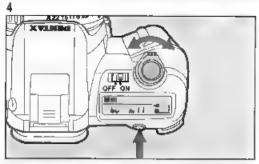




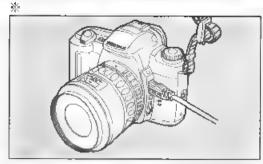


- * シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内に 絞り値と「bu」が表示されます。表示パネルにも「bu」 と絞り値が表示されますが、この表示は電源がONであ れば常に表示されます。
- * ファインダー内の Ou 表示の下に機棒が表示されます。
- * レンズの絞りが [A] 位置以外では、シャッターが切れ ません。
- * レンズの絞りを A 位置に合わせる場合は、絞りオートロックボタンを弾しながら回してください。なお、A 位置から外す場合にも、絞りオートロックボタンを押しながら回してください。



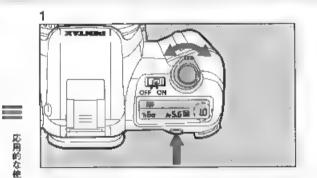


- 4. 露出補正ボタンを押しながらセレクトレバー を回して、好みの絞りを選びます。
 - * 新品のリチウム電池[常温]で、約8時間の長時間露出 ができます。



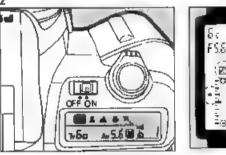
※ バルブで撮影するときは、ぶれ防止のためしっ かりした三脚を使用し、別売りの「ケーブル スイッチF」をレリーズソケットに付いてい るレリーズキャップFを外してから差し込ん でご利用ください。

(5) 露出補正について



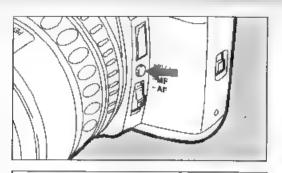
意図的に露出オーバー[■るい写真]や露出アンダー [暗い写真]にしたいときなどに使います。

1. 露出補正ボタンを押しながらセレクトレパー を回し、好みの補正値を選びます。



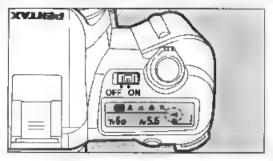
- 2. 露出補正中は、ファインダー内にバーグラフ と 🗷 が、表示パネルには、 🖼 が表示さ れます。
 - * 露出補正は、マニュアル露出および、バルブでは使 えません。
 - * ■出補正は、-3~+3 段階[EV]の範囲で0.5段階 [EV]ごとに行なえます。
 - ★ ファインダー内のバーグラフの黒丸の移動量1つが 0.5段間[EV] に相当します。
 - * 電源をOFFにしたり、他の露出モードにしても、露 出補正は解除されません。

(6) 電子音を消します



ピントが合ったときの電子音を消すことができます。

側面ボタンを押して、表示パネルの _{| ▼ |} 表示を 消します。



- 電子音の切り替えは、内蔵ストロボが上がっていない 状態で行なってください。上がった状態で側面ボタン を押すと、ストロボの発光方式が切り替わってしまい ます。
- * 電子音を得しても、セルフタイマー作動時の音は消え ません。
- * 電子音を再び鳴らすには、同様に側面ボタンを押して ■ を表示させます。

(7) 内蔵ストロボについて、もっと知りたい方へ

ピクチャーモードを使うとき

- 周りの明るさに合わせて、シャッター速度と絞りが自動的に変化しますので、簡単にストロボ撮影ができます。
- シャッター速度は、1/100秒から低速側は手ぶれをしないシャッター速度まで自動的に変化します。なお、シャッター速度の個速限界はご使用レンズの無点距離によって変化します。ただし、Aレンズ使用時および、動体モードでは1/100秒間定になります。

シャッター優先自動露出を使うとき

応用的な使い方

- 動きのある物を写すときに、ぶれの効果を変えてストロボ撮影ができます。
- 1/100 秒以下のシャッター速度を自由に選んでストロ ボ撮影ができます。
- 周りの明るさに合わせて自動的に絞り値が変化しますので簡単にストロボ撮影ができます。

絞り優先目 助露出を使うとき

- ピントの合う範囲し被写界深度]を変えて撮影したいときや、より遠くの物を写したいときなどに、絞りを自由に変えてストロボ撮影ができます。
- 関りの明るさに合わせて自動的にシャッター速度が変化しますので領単にストロボ撮影ができます。
- シャッター速度は 1/100 秒から低速側は手ぶれをしないシャッター速度で自動的に変化します。なお、シャッター速度の低速限界はご使用レンズの焦点距離によって変化します。ただし、Aレンズ使用時および、動体モードでは1/100秒固定になります。

マニュアル露出を使うとき

1/100 秒以下のシャッター速度と絞りを自由に組み合わせて、ストロボ撮影ができますので、背景の明るさを自由に変えてのストロボ撮影などができます。

使用絞りから撮影距離を計算します

遠距離側の目安 ガイドナンバー ÷ 使用絞り 近距離側の目安 遠距離側目安 ÷ 5 [注]

ただし、0.7m以下の距離では使えません。0.7mより近 距離で撮影すると、ストロボ光のムラやケラレおよび露 出オーバーの原因となります。

注:割り算で使用した数値の「5」は、このカメラの内 蔵ストロボを単独で使用した場合にのみ適用される 数値です。

なお、ガイドナンバーは使用するフィルム感度[ISO]により下の表のようになります。

ISO25 → 5.5	ISO200 → 15.6
ISO50 → 7.8	ISO400 → 22
ISO100 → 11	

ここでISO100のフィルムを絞りF2.8で使うときの例をあげます。

ガイドナンバー(11)÷F2.8=3.9m

 $3.9 \pm 5 \pm 0.8 \text{m}$

従って、約0.8mから3.9mの範囲でストロボが使えます。

撮影距離から使用絞りを計算します

ガイドナンバー ÷ 機影距離=使用絞り

計算で由た数字が「3」のようにレンズの絞り値にない値にないたときは、一般的に数字の小さい方[2,8]にします。

シャッター優先 即動露出のときの撮影距離を計 算します

撮影可能距離は、前記の使用絞りから撮影距離を計算する方法と同様ですが、シャッター優先自動露出では、明るさによって絞りが開放から最小絞りまで変化しますので、そのときの絞り値によって、撮影同様は変化します。

72

F・FAレンズの内蔵ストロボ游合表[○は使用可、×のレンズではケラレが発生します]

	Les a	
レ ン ズ 名	道合	
FA20mmF2.8	×	
FA*24mmF2	×	
FA28mmF2.8	0	
FA35mmF2AL		
FA43mmFl.9 Limited		
FA50mmF1.4/50mmF1.7	0	
FA77mmF1.8 Limited	0	
FA*85mmF1.4	0	
FA135mmF2,8	0	
FA*200mmF2.8	0	
FA*300mmF2.8	×	
FA*300mmF4.5	0	
FA*400mmF5.6	0	
FA*600mmF4	×	
FAマクロ50mmF2.8/100mmF2.8	0	
FA マクロ 100mm F3.5	0	
FA 27 1 28mmF2.8/85mmF2.8	0	

※1:焦点距離が28mm未満ではケラレが発生する場合がありま

※2:魚点距離が28~35mmで撮影範疇が3m以下の場合と、35mmで撮影距離が1m以下ではケラレが発生する場合があります。

レンズ名	適 合
F X−4 17~28mmF3.5~4.5	×
FA ズーム 20~35mm F4	△ •
FA X-4 28~70mmF4	0
FA*X-4 28~70mmF2.8	×
FA X= 4 28~80mmF3.5~5.6	△ **
FA ズー▲ 28~105mmF4~5.6	△ •0
FA X-4 28~105mmF4~5.6(IF)	△ **
FA X-4 28~200mmF3.8~5.6AL(IF)	△ •
F X-4 35~80mmF4~5.6	0
FA X-A 70~200mmF4~5.6	Q Q
FA*X-4 80~200mmF2.8	△ •
FA X-480~320mmF4.5~5.6	0
F ズーム B0+200mmF4.7+5.6	0
F •FA X−A 100~300mmF4.5~5.6	0
FA*ズーム 250~600mmF5.6	×

※8:無点距離が28~35mmの場合と、35mmで撮影距離が1.5m 以下の場合ケラレが発生する場合があります。

※4:無点距離が40mm以下では、ケラレが発生する場合があります。

※ 5:焦点距離が70cmm以下ではケラレが発生する場合がありま

す。 ※6:焦点距離が80~90mmの場合ケラレが発生する場合があり ます。





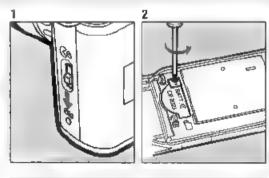
このカメラでは、フィルムをカメラに入れたときに、 自動的にフィルム感度が設定されますが、一部のD Xでないフィルムを使う場合は、下記の方法でフィ ルム感度を設定してください。

設定方法

応用的な使い方

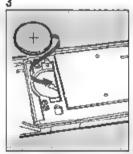
- 1. モードダイヤルを回して、<u>ISO SET</u> に合わ せます。
- セレクトレバーを回して、フィルム膨度を変えます。
- 3. <u>設定終了</u>後、モードダイヤルを回して ISO SET 以外の位置に合わせます。
 - * 数字を小さい方へ変化させたいときは、セレクトレバー を左に、大きい方へ変化させたいときは、右に回して ください。
- * モードダイヤルが ISO SET 位置では、シャッターが 切れません。
- DXの態度と違うフィルム感度を設定したときには、表示パネルに「ISD 表示が出ます。

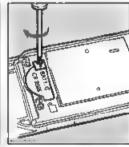
(9) 日付や時刻の写し込みが薄くなったときの電池交換



電池の寿命は約3年です。写真に写る日付や時刻が 薄くなってきたり、写らなくなった場合には電池を 交換してください。

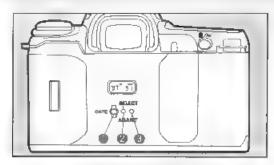
- フィルムが入っていないことを確認して裏ぶたを開けます。
- 裏ぶた内側に ←BATT. で マークで示されて いるネジをドライバーで回して電池ぶたを外 します。
- 3. 古い電池を取り出し、新しい電池を「+」側を 上にして入れます。
- 電池ぶたを元の位置に戻し、ネジをドライバー で締めます。





- * 電池を入れると日付や時間が表示されます。表示が出ないときは電池の+-が近しく入っているかを確認してください。
- 電池交換後は、日付や時刻の修正を行なってから撮影 してください。日付や時種の修正については汚ページ をご覧ください。
- * 電池は必ず、決められたリチウム電池 CR2025 を 1 個 使用します。
- * 電池交換は、最寄りのサービスセンターでも承ります。 (有料)

(10) 白付や時刻の修正





写真の目付はハメ込み合成です。

- **0**=.DATE ボタン
- ●=[SELECT]ポタン
- ❸─ ADJUST ボタン

且付や時刻の修正方法

「年月日」の修正

修正を行うときは、ストラップ留め具の突起を 利用してください。

- 1.②の SELECT ボタンを押して、年月日表示 のうち修正したい書字を点滅させます。
- ②の ADJUST ボタンを押して、点滅している数字の修正を行ないます。
- 43. 修正後は、◎の SELECT ボタンを押して、 点減を止めます。
- * 点蔵の順番は、年→月→日→年です。
- ★[ADJUSt]ボタンは、一回押すごとに数字が一つ進みます。押し続けると約2~3秒後からは早送りされます。

76

「時分秒」の修正

修正を行うときは、ストラップ留め具の突起を 利用してください。

- 1. ②の SELECT ボタンを押し、時・分・「:」 表示のうち修正したい理字 [秒の場合は:]を 点滅させます。
- 2. ①の ADJUST ボタンを押して、点滅している数字の修正を行ないます。
- 3. 0秒にセットするには、「:」点滅のときに® の ADJUST:ボタンを押してください。
- 4. 修正後は、Oの SELECT ボタンを押して、 点滅を止めます。

* 点滅の順番は、時→分→:→時です。

- * [ADJUST] ボタンは、一回押すごとに数字が一つ進み ます。押し続けると約2~3秒後からは早送りされま す。
- ◆ 修正を行うときは、ストラップ留め具の突起を利用してください。

使用上の注意

- 使用可能温度は約50℃~0℃ですが、低温下では、写し込まれる文字が薄くなることがあります。
- * 使用できるフィルム感度はISO25~1600までです。 感復 はカメラにフィルムを入れると自動的にセットされま す。
- * 高感度フィルム[ISO 1000以上]を使ったときは、写し 込まれる文字がにじむことがあります。
- * ISO 50以下のフィルムは、フィルムにより写し込まれる文字が薄くなることがあります。
- * 権託途中[点滅表示中]は、シャッターを切っても日付 や時刻は写し込まれません。



カメラの内蔵ストロボでは光鷺が不足するときは、 外付けストロボを利用してください。「結婚披露宴 やパーティーなどで便利です〕

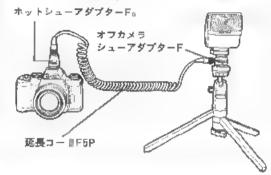
TTLオートで使います。

- 1. カメラのホットシューに付いているホットシュー カバーFxを外し、ストロボを取り付けます。
- 2. ストロボの雷源スイッチを入れます。
- 3. ストロボの発光モードをTYLオートにします。
- 4. ストロボの充電完了を確認します。
- ピントを合わせて撮影します。
- * ストロボの充電完了ランプが点灯すると、カメラのシャッ ターボタンを半押ししたときに、ファインダー内の ■ も点灯しますので、ファインダーでも充電完了の 確認ができます。
- 撮影できる距離については、外付けストロボの説明書 をご覧ください。
- * 各路出モードでのシャッター速度・絞り値の変化につ いては、外付けストロボの説明書をご覧ください。

内蔵ストロボと外付けストロボの間時使用方法 このカメラでは、カメラのホットシュー部分に外付けス トロボを付けた状態では内蔵ストロボを上げることがで きません。内蔵ストロポと外付ストロポを同時に使う場 合は、カメラのホットシュー部分に別売りのホットシュー アダプター Foを取り付け、更に外付けストロボの下に別 売りのオフカメラシューアダプターFを付け、延長コー ドF5Pで接続します。オフカメラシューアダプターFの 下には三脚取り付け用のねじがありますので、 三脚に周 定することができます。

AF400Tについて

AF400Tをつないだ状態では、内臓スポロボは使用でき ません。内蔵ストロボを上げると、4PシンクロコードB に当たってしまいます。



AF500FTZ, AF330FTZ

- 暗くてオートフォーカスの苦手な物でも、AFスポッ トビーム[赤色の補助光]を自動的に投光しますので、 オートフォーカスを動かせることができます。
- オートズーム機構付きですから、レンズの焦点距離に 対応して自動的に照射角度が変化します。[F・FA レ ンズ使用時のみ〕
- 露出モードがピクチャーモード、シャッター優先自動 露出、絞り優先自動露出であれば、ストロボの発光モー ドがマニュアルでも自動的にTTLオートになります。
- 充電完了後およそ3分以上放置したときは、ストロボ の電源が自動的に切れます。カメラのシャッターボタ ンを半押しするとストロボの充電が再開されます。

AF240FT、AF400FTZ

- 暗くてオートフォーカスの苦手な物でも、AFスポッ トピーム[赤色の補助光]を自動的に投光しますので、 オートフォーカスを働かせることができます。
- 露出モードがピクチャーモード、シャッター優先自動 露出、絞り優先自動露出であれば、ストロボの発光モー ドがマニュアルでも自動的にTTLオートになります。
- ▶ 充電完了後およそ5分以上放置したときは、ストロボ の電源が自動的に切れます。カメラのシャッターボタ ンを半押しするとストロボの充電が再開されます。

AF200T, AF280T, AF400T

- TTLオートモードで使用すると、周りの明るさによっ てシャッター速度が1/100秒から低速側は手ぶれをし ないシャッター速度まで自動的に変化します。なお、 シャッター速度の低速限界はレンズの焦点距離によっ て変化します。ただし、オートフォーカス用でないA レンズ使用時および、動体モードでは、1/100秒固定 になります。絞り値は固定となりますが、フィルム感 度により変化します。
- 外光オート[赤・緑・黄位置]で使用すると、使用する フィルムの感度により、絞りは固定値となります。詳 しくは、ストロボの使用説明書をご覧ください。充電 が完了すると、シャッター速度も1/100秒から低速 側は手ぶれをしないシャッター速度まで自動的に変化 します。なお、シャッター速度の低速限界はご使用レ ソズの熊点距離によって変化します。ただし、オート フォーカス用でないAレンズ使用時および、動体モー ドでは、1/100 秒間定になります。

,	AF200T	AF280T	AF400T
赤	F2.8	F4	F4
	F5.6	F8	F8
黄			F11

[ISO 100の場合]

ストロボ撮影[使用上]の注意

内蔵ストロボとペンタックス専用の外付けストロボを組み合わせて同時に使用した場合、外付けストロボが後事シンクロに設定されていれば、内蔵ストロボも後幕シンクロになります。撮影時は、各ストロボの充電の完了を確認してからシャッターを切ってください。

その他のストロボを使用した場合

- 他社製ストロボを組み合わせると、故障の原因になる場合があります。ペンタックス専用オートストロボの使用をお勧めします。
- スタジオ用の大型ストロボでは、極性が逆になっている物があります。このタイプでは、MZ-50と組み合わせてもストロボが発光しません。詳しくは、ストロボメーカーにご相談ください。また、大型ストロボでは、後暮によるケラレを防ぐため、同調速度より一段低いシャッター速度での使用をお勧めします。

光量比制御シンクロ撮影

AF330FTZまたはAF500FTZとカメラの内蔵ストロボを組み合わせることで、2つのストロボの光量の違いを利用した増灯操影(光量比制御シンクロ撮影)ができます。

- 1.77ページの方法で、外付けストロボをカメラ から離して接続します。
- AF330FTZまたはAF500FTZのシンクロモードを光量比制御モードにします。
- 外付けストロボと内蔵ストロボのストロボの 充電完了を確認してから提影してください。
 - * 光量の比率は、内蔵ストロボが] に対して外付けストロボは 2 になります。
 - * ホットシューグリップなど接点数の異なるアクセサリー を組み合わせると、誤動作の原因となりますので、使 用しないでください。
 - * 光量比制御シンクロ撮影では、シャッター速度の上限は1/60秒になります。

外付けストロボの多灯撮影

2個以上の外付けストロボを同時に使用する場合は、80ページのストロボ機能一覧表の同じタイプどうしを組み合わせるか、TYPE EとTYPE CあるいはTYPE DとTYPE Eの組み合わせでお使いください。内臓ストロボは、どのタイプとでも組み合わせ可能です。

ストロボ機能一覧

AT THE PROPERTY OF THE PROPERT					
カメラの機能	TYPE A	TYPE B	TYPE C	TYPE D	TYPE E
ストロボ充電完了で、ストロボの同調速度に自 動的に切り替わる。	0	0	0	0	0
ピクチャーモード、シャッター優先自動露出で は絞りが自動セットされる。	0	0	0	○注1	注1
ファインダー内でオートチェックができる	Х	0	0	×	×
TTLオートストロボ撮影ができる。	0	0	0	_ 〇注2	×
シャッター優先自動露出、マニュアル露出では 低速シンクロができる。	0	0	0	0	0
AFスポットビームが使える。	×	.0	0	×	×
後幕シンクロ撮影ができる。注3	2±4	0	0	×	×
光量比制御モードで撮影できる。注3	X	Τ΄ Ο	X	×	×

TYPE A:内蔵ストロボ

TYPE B : AF500FTZ[注5]、AF330FTZ

TYPE C : AF400FTZ, AF240FT

TYPE D : AF400T, AF280T, AF200T, AF080C,

AF140C, AF200S

TYPE E : AF200S, AF160, AF140

注 1: TYPE D[AF200S,を除く]のストロボで、MS
[マニュアルシンクロ]、M[マニュアル]を使うと
きやTYPE Eのストロボを使うときは、絞り優先 自動露出、マニュアルおよびパルプで撮影してく ださい。ピクチャーモードおよびシャッター優先 自動露出では、絞りが変化してしまいますので使 えません。

注 2: AF200S。は不可。

注3:シャッター速度は1/60秒以下になります。

注4: TYPE BまたはCストロボと組み合わせて後幕シンクロ可能。

注5:マルチストロボ、スレーブ機能が働きます。

(12) 日中シンクロについて



ストロボなし



ストロボ使用

82

昼間の明るいときでも、帽子などで人物の顔が陰に なってしまうような場合に、ストロボを利用すると 陰の取れたきれいな写真が構れます。

日中シンクロのやり方は、一般のストロボ撮影 とまったく同じですから、そのままシャッター ボタンを押すだけで簡単にできます。

- * 貸長が明るい場合には、裏出オーバーになることが あります。
- * ビクチャーモードで、内蔵ストロボの日中シンクロ を行なう場合、ストロボ自動発光モード[表示パネ ルに [GA] が表示]を使用すると、ストロボが発光し ないことがあります。45ページの方法で表示パネル の 多 表示を消してから、日中シンクロ撮影を行 なってください。

(13) 低速シンクロについて



夕景などを背景に人間撮影をするとき、低速シンク ロを利用すると人物も背景もされいに写せます。

マニュアル露出の場合

- 1. ストロボボタンを押して、ストロボを上げます。
- 2. マニュアル露出にします。
- 3. 適正露出になるようにシャッター速度 [1/100] 秒以下の低速]と絞りを選んでください。
- 4. 提影します。
 - * マニュアル露出では、「1,」の操作は撮影前のどの時点 で行なっても結構です。

- シャッター優先自動露出の場合
- 1. シャッター優先自動電出にします。
- 好みのシャッター速度を選びます。
 - * 表示パネルとファインダー内の絞り値表示が点滅して いると背景が適正露由になりませんので、点域がなく なるシャッター速度を設定してください。
- 3. ストロボボタンを押して、ストロボを上げます。
- 4. 撮影します。
 - ◆「2.」の操作の前にストロボを上げると、背景が通 正露出になりませんので、シャッター速度を選んで からストロボを上げてください。
 - * 低速シンクロ撮影では、シャッター速度が遅くなりま す。手ぶれを防ぐため、カメラを三脚などに固定して ください。また、写される人が動いても、写真はぶれて しまいますのでご注意ください。
 - * 低速シンクロは、外付けストロボでも同様に行なうこ とができます。





▆

(14) 専用アクセサリー[別売]について

このカメラには、各種専用アクセサリーが用意 されています。詳しくは、各サービス窓口にお 問い合わせください。

- ケーブルスイッチF
 - MZ-50、MZ-10、MZ-3、MZ-5、 $Z-1_{P}$ 、および 645_{N} 等に使えるレリーズコード。
- マグニファイヤーF。
 - ファインダー中央部を拡大して見るアクセサリー。
- オートストロボAF500FTZ ガイドナンバー50のAFスポットビーム内蔵オートズームストロボ。スレーブ機能、マルチ発光、光量比制御モードや先暮・後暮シンクロ機影などが可能。
- オートストロポAF930FTZ
 - ガイドナンバー33のAFスポットビーム内蔵オートズー ムストロボ。光量比制御モードや先幕・後帯シンク= 楊影などが可能。
- ホットシューアダプターF。延長コードF5P、オフカメラシューアダプターF

AF500FTZ・AF240FT・AF330FTZ・AF400FTZ をカメラから難してストロボ撮影するときのアダプター とコード。[接続方法は77ページをご覧ください] ■ マクロストロボAF140C ガイドナンバー14の接写用ストロボ。

67mm・77mmの 5種類です。

- レフコンバーターA ファインダーを見る角度を90°間隔に変えることができるアクセサリー。倍率は1倍と2倍の切り替え式。
- フィルター スカイライト・曇天用・UV・Y2・O2・R2・円偏光 があります。フィルター径は49mm・52mm・58mm・
- 単3パッテリーバックF。単3電池を使用するための別売りバッテリーバックです。

84

応用的な使い方

アクセサリーの注意

- このカメラで使用できるレンズは、絞りに [A] 位置のあるFA・F・Aレンズのみです。これ以外のレンズや、FA・F・Aレンズを絞り [A] 位置以外で使用するとシャッターが切れません。
- F・FAソフト85mmF2.8およびFAソフト28mmF 2.8レンズには、絞り A 位置がありませんので使用 できません。
- レフコンバータA取り付け時、カメラの裏ぶた開閉を 行うと、レフコンバーターAと接触することがあります。裏ぶた開閉時は、レフコンバーターAを外してく ださい。
- オートフォーカス機構の一部にハーフミラーを使用していますので、一般の偏光フィルターを使うとオートフォーカスの精度が低下します。オートフォーカスで使用するときには円偏光フィルターをご利用ください。また、露出の精度も低下しますので、円偏光フィルターの使用をお勧めします。。

 下記のアクセサリーと組み合わせると、シャッターが 切れなくなりますので、ご使用いただけません。

★接写用アクセサリー

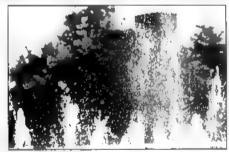
- オート接写リングKセット
- ・オート接写リングK50mm
- ・オート接写リングK100mm
- へりコイド接写リングK
- ・オートベローズAセット
- リバースアグプターK49mm・52mm
- 接写リングKセット
- 顕揮鏡対物レンズ用アダプターK
- 顕微鏡アダプターK

★マウント変換アダプター

- ・マウントアダプターK[シャッターは切れますが露出が合いません。]
- 645レンズ用アグプターK
- 67レンズ用アダプターK

MEMO
, ,

(16) 絞りとシャッター速度の効果



事法シェッター



低速シャッター

写したい物[被写体]の適正露出を決めることは、シャックー速度と絞り値の組み合わせを決めることです。 ところが、写したい間が同じ明るさであってもシャッター速度と絞り値の組み合わせはいくつもあり、この組み合わせを選ぶことにより写真の効果を変えることができます。

シャッター速度の効果

シャッター速度は、光がフィルムに当たっている時間を 長くしたり、短くしたりしてフィルムに当たる光の量を 調節しています。

シャッター速度が遅ければ、シャッターの開いている時間が長くなるため、もし、このとき写したい物が動いていれば、当然写したい物がぶれてしまいます。逆にシャッター速度を速くすると、動きのある物でも動きを止めて写すことができます。また、写したい物が動いていなくてもシャッター速度を速くすると、シャッターを切るときにカメラが動いてしまうカメラぶれを防ぐ効果もあります。また、川や滝、波などを低速のシャッター速度で写すと動感のある写真になります。

=





小捻り側



開放絞り側

絞りの効果

絞りは、レンズを光が通るときの光東[光の太さ]を大き くしたり、狭くしたりしてフィルムに当たる光の量を調 節しています。

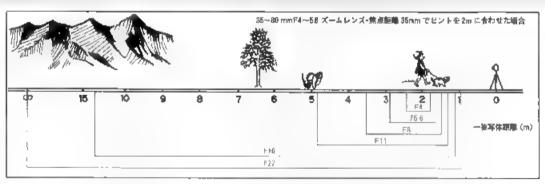
級的を願いて光束を広くすると、ピントを合わせた物に 対してその前後の物のボケが大きくなります。 つまり、 ピントの合う範囲[被写界深度]が狭くなります。 逆に、 絞りを絞って光束を狭くすると、ピントの合う範囲が広 くなります。

例えば、風景の中で人物を撮影するときに、絞りを開いて撮影すると、ピントを合わせた人物の前後の風景のボケが大きくなるため、人物だけが浮かび上がる効果があります。

逆に、絞りを絞ると前後の風景にまでピントを合わせる ことができます。

88

(17) 被写界深度



写したい物のある部分にピントを合わせると、その前後 にもピン⊩の合う範囲があります。この範囲を被写界濃 度といいます。

被写界深度[ピントの合う範囲]は、図のように絞りを紋 り込むほど深くなりますが、この他にも広角レンズほど、 また、写したい物が違くなるほど被与界深度は深くなり ます。

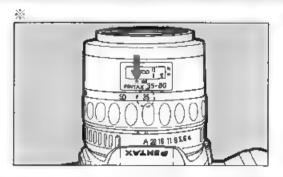
ピントの合う範囲

上図は、35~80mmF4~5.6のズームレンズで焦点距離 を35mmに、ピントを8mに合わせた場合のピントの合う 範囲です。

絞りを変えることによってピントの合う範囲[奥行]が変わります。

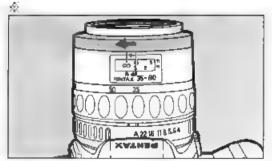
ズームレンズには機構上被写界深度目盛りは付いていません。

(18) 赤外線指標について



赤外線フィルムと「R2」や「O2」フィルターを使 用して赤外線写真を撮影するときは、一般撮影[可 ■光線]とピント位置が異なってくるため、ピント の補正が必要になります。

- 1. 通常のフィルムと同様にピント合わせを行な います。
- 2. フォーカスモードレバーを MF: にも、距離 リングを赤外線指標の分だけ左に回して補正 します。



- ※図のように、焦点距離目盛りが35のときは、 距離目盛りを35の赤外線指標「赤線」までずら します。
 - * オートフォーカスでは赤外鎖写真のピント補正ができ ません。
 - * 赤外線写真を撮影するときの露出は、フィルムの説明 書を参考にしてください。自動露出では過五露出が得 られませんから、マニュアル露出で撮影します。

90

Ⅳその他について

こんなときは?

修理を抜願される前にもう一度、次の点をお調べください

定 状	原區		事態ページ
シャッターが切れない。	レンズの絞りがA位置以外になっている。	絞りをA位置にしてください。	27 ベージ
	被写リングなどのアクセサリーを使用している。	アクセサリーを外してください。	84 ページ
	電影がOFFになっている。	電源をONにしてください。	20 ページ
	バッテリー警告 ←■ が点観している。	電池を交換してください。	14 ページ
	電池が逆に入っている。	電池を正しく入れてください。	14 ベージ
	モードダイヤルが ISO SET 位置になっている。	モードダイヤルを「ISO SET 以外の位置 にしてください。	73 ページ
	セルフタイマーになっている。	セルフタイマーを解除してください。	47 ページ
	内蔵ストロボが充電中である。	充電されるまで待ってください。	39 ページ
表示パネルに表示が出ない。	電源がOFFになっている	電影をONにして(ださい。	20 ページ
	電池が入っていない。	電池を入れてください。	14 ページ
	電池が逆に入っている。	電池を正しく入れてください。	14 ページ
	電池が完全に消耗している。	電池を交換してください。	14 ページ
ピントが合わない。	ピットを合わせたい欄[被写体]にAFフレーム [] が合っていない。	写したい物をAPフレーム [] に入れて撮影してください。	34 ページ
	写したい物に近づきすぎている。	写したい物から離れてください。	35 ベージ
	フォーカスモードレバーが MF になっている。	フォーカスモードレバーを $[AF]$ にしてください。	33 ページ
	オートフォーカスの苦手な物	フォーカスロックを使うか、マット部分 でのビント合わせをしてください。	36 ページ 51 ページ



変 状	即 国	抵 皺	参照ページ
ファインダー内の 〇 が点値する。	優影する距離が遅すぎたり、オートフォー カスの苦手な物などのためピント合わせ ができない。	フォーカスロックを使うか、マット部分 でのピント合わせをご利用ください。	38 ページ 51 ページ
内蔵ストロボが充電しない。	バッテリー 一 が点減している。	電池を交換してください。	14 ベージ
パワーズームが動かない。	このカメラでは、パワーズームは使えま せん。	マニュアルズームでお使いください。	31 ページ

静電気などの影響により、希にカメラが正しい作動をしなくなることがあります。このような場合には、---旦電池を入 れ直してみてください。また、ミラーが上がったままになった場合には、電池を入れ直してから電源をONにし、シャッ ターボタンを押し込んだまま電源をOFFにすると、ミラーが下がります。これらを行ないカメラが正常に作動すれば放 **離ではありませんので、そのままお使いいただけます。**

主な仕様

TTLストロボ内蔵 TTL AB・AF35mm一眼レフカメラ 定型

画面サイズ -- -24 × 36mm

35mmフィルム[J135バトローネ入り] 35mmDXフィルム=ISQ25~5000、子動セットはISO6~6400 使用フィルム 一

ピクチャーモード[標準モード、人物モード、MBEモード、近接モード、動体モード]、シャッター優先自動 量出モード -護山、便り優先自動酵出、マニュアル露出、バルブ

電子制御式縦走りフォーカルブレーンシャッター、オートシャッター=1/2000秒~30秒[無段階]、マニュア シャッター ー

ルシャッターコ1/2000秒~30秒、バルブ、電磁レリーズ、電源OFFでシャッターロック

レンズマウント ペンタックスパヨネットKarマウント[AFカブラー、レンズ情報接点付Kマウント] - Kark Kapマウントレンズ Kaマウントレンズ[AFアダプター使用でAF可能]

使用レンズ --- --オートフォーカス機構 — TTL位相差検出式測距 (SAFOX V)、オートフォーカス作動輝度闡囲Ev0~18[ISO100] フォーカスロック

可能、フォーカスモード= AF [動体予測可] / MF

ペンタミラーファインダー、ナチュラルブライトマットフォーカシングスクリーン、視野率92%、倍率0.77倍

[50mm・∞]、視魔= −1m⁻¹ [毎メートル]、AFフレーム

ファインダー内表示 -- フォーカス表示[FI=フォーカスインジケーション] | ○ | 合熊マーク=点灯 合焦不能マーク=点慮、シャッ

ター速度表示、絞り表示、 🏮 =ストロギ情報、パーグラフ=電出補正値 マニュアル電出時のオーバー・

アンダー表示。 ■ = 露出補正

M =マニュアル露出、 = = 無準モード、 🔳 = 大物モード、 🔳 = 風景モード、 🔳 = 近接 LCDパネル表示

モード、 📆 -動体モード、シェッター速度、絞り値、 🔩 - 内蔵ストロボ充電光了 💺 週い点減= ストロボお勧め 📲 遠い点滅=不適切レンズ警告、 🚳 =赤目軽減機能、 🜇 =ストロボ自動発光。

フィルム感度、ISO、 💁___ = パトローネ・フィルム走行・巻き取り、 📼 😑 電池消耗、フィルム枚数、



ファインダー

セルフタイマー・ 電子制御式、始動はシャッターボタン、作動時間12秒[電子音]、作動後解除可能 ミラー タイックリターンミラー、オー 🛮 フォーカス用第2ミラー村 フィルム入れ 一 オートローディング、裏ぶた閉じにより1枚目まで自動巻き上げ、裏ぶたにフィルム情報繁付 巻き上げ・巻き戻し 内蔵モーターによる自動巻き上げ・巻き戻し式、1コマ撮影・連続撮影[約2コマ/炒]、フィルム終了時自動 巻き戻し、フィルム走行・巻き戻し完了をLCD表示。途中巻き戻しポタンによる途中巻き戻し可能 雪出計・気光範囲 TTL開放分割測光 (中央部と周辺部の2素子)、測光範囲 50mm P1.4 ISO100 EV1~21 量出補正 ±8EV[0.5EVごと設定可能] ストロボ 直列制御TTLストロボ内蔵、ガイドナンバー11[ISO190/m]28mmレンズをカバー、同調速度 1/100秒以下、 日中シンクロ 低速シンクロ 光量比制御可能 ISO連動範囲=25~800、自動発光可能、赤目軽減機能 シンクロー ホットシュー[X接点専用ストロボ接点付き] 専用ストロボ連動 ISO連動範囲=25~800 il. 3Vリチウム電池 CR2 2個 電池消耗警告 バッテリーマーク **□** 点灯[点■時シャッターロック、ファインダー内表示は消灯] 暴ぶた 交換可能 大きさ・質量[置き] 135mm[幅]×90.5mm[高]×62.5mm[厚] 360g[ボディーのみ 電池別] 付属品 ホットシューカバーFg、レリーズソケットキャップF、カメラストラップFc、アイカップFn、ファインダーキャッ

データバック仕様

機構 クォーツ制御、液晶表示式、デジタル時計、オートカレンダー[西暦2049年まで、閏年は自動修正]

7セグメント 6 桁LCD、フィルム青面より写し込み 写し込み方法 -

表示 データ表示窓にLCD表示、表示写し込み時 - が 2~9 秒間点減

羅獅 ①年・月・日、②日・時・分、③ -- :- [データ写し込み無し]、①月・日・年、⑤日・月・年

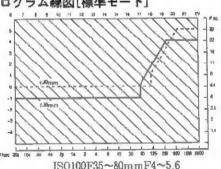
使用フィルム感度 ISO25~1600[感度自動セット]

雪瀬 CR2025 [リチウム電池]

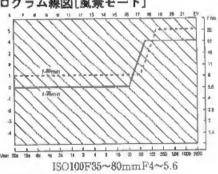
発光回數 約5000回

プログラム線図

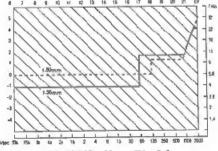




プログラム線図[風景モード]



プログラム線図 「人物モード]

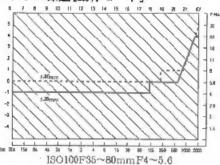


ISO100F35~80mmF4~5.6

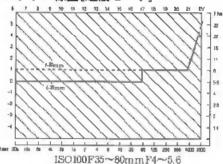




プログラム線図[動体モード]



プログラム線図[近接モード]





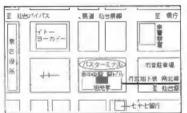
お問い合わせは次の各サービス窓口へ



ベンタックスフォーラム (ショールーム・写真県・修理受付) ☎03 (3348) 2941 RB

〒163-9401 東京都新宿区西新宿2 1-1

新宿三井ビル「階 (私書類240号)



仙台サービスセンター

☎022 (371) 66830€) ₹981-3133 宫城集仙台市泉区

東中央1-7-1 千代田生命東中央駅ビル5階



東京サービスセンター

☎03(3571)5621(H) 〒104-0061

東京都中央区銀座西8-10 (土橋交差点交響並び)



横浜サービスセンター

☎045 (232) 528 18€

〒231-0047 神奈川県横浜市中区

90次銀72-7-10 日本生命関内ビル8階

香石油. 日油 14.6% time! 至りりが開 新野組 西137日 西177日 西187日 西157日

札幌サービスセンター

☎011(612)3231(代 ₹060-0010

北海道札幌市中央区 北10条巻18-36

ベンタックス札幌ビル4階



名古屋サービスセンタ

☎052(962)5331₩5 〒461-0001

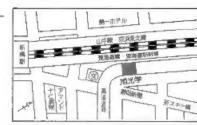
愛知県名古摩市東区

泉1-19-8



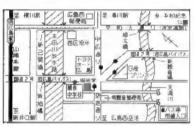
大阪サービスセンター

206(6271)7996代) ₹542-0081 大阪府大阪市中央区 兩船場1-17-9



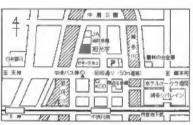
お客様相談室

203(3572)6479 〒104-0061 東京都中央区銀座西8-10 (土構交差点交番並び)



広島サービスセンター

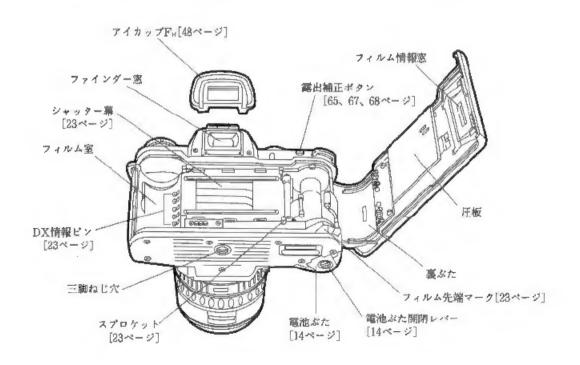
☎082 (234) 5681(ft) ₹731-0035 広島県広島市西区 兩觀音3-5-2 空港通りビル8階



福岡サービスセンター

11092(281)6868例 ₹810-0802 福岡県福岡市博多区中洲 中島町3-8 パールビル1階

各部の名称②



- 旭光学のサービス窓口では、ペンタックスカメラをはじめ、各種交換レンズやアクセサリーが展示され、お手にとってご覧になれます。また、種々のご相談にも応じておりますので、お気軽にお立ち寄りください。
- 他社製品[レンズ・アクセサリー等]との組み合わせ使用に起因する故障については有料となります。
- 1 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1 年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用 説明書に記載されている最寄りの当社サービス窓 口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、 当社のサービスセンター窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の場合は、化粧箱などを利用し て、輸送中の衝撃に耐えるようしっかりと梱包し てお送りください。不良見本のフィルムやプリント、また放陣内容の正確なメモを添付していただけると順因分析に役立ちます。
- 2. 保証期間中[ご購入後1年間]は、保証書[販売店 印および購入年月日が記入されているもの] を ご提示ください。保証書がないと保証期間中でも 修理が有料になります。なお、販売店または当社 サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様に ご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸 掛りにつきましても、輸送方法によっては一細ご 負担いただく場合があります。

- 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - ・使用上の誤り(使用説明書記載以外の誤操作等) により生じた故障。
 - ・当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解による故障。
 - 火災・天災・地変等による故障。
 - ・保管上の不備(高温多湿の場所、防虫剤の入った場所での保管等)や手入れの不備(泥・砂・ホコリ・水かぶり・ショック等)による故障。
 - ・保証書の添付のない場合。
 - 販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに 記載事項を訂正された場合。
- 保証期間以後の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
- 5. 本製品の補修用性能都品は、製造打ち切り後7年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、回間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
- 6. 海外旅行をされる場合国際保証書をお持ちください。国際保証書は、当社サービス窓口でお持ちの保証書と交換に発行しております。[保証期間中のみ有効]



旭光学工業株式会社

ペンタックス販売株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1

ペンタックスファミリーのご案内

ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の写真クラブで す。年4回の会報と写真年鑑の配布、イベントへの参加や修理料 金の会員割引など様々な特典があります。

お申し込み・お問い合わせは下記ペンタックスファミリー事務局 まで。

〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1

三七坂ビル3階 203 (3580) 0336

☆この使用説明書にⅢ再生紙を使用しています。 Printed in Philippines ☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。 13-0009